

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 3 月 19 日 (2015.3.19)

【公開番号】特開 2014-153650 (P2014-153650A)

【公開日】平成 26 年 8 月 25 日 (2014.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2014-045

【出願番号】特願 2013-25333 (P2013-25333)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/28 (2006.01)

G 0 3 B 13/36 (2006.01)

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

G 0 2 B 7/34 (2006.01)

G 0 2 B 7/36 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 7/11 N

G 0 3 B 3/00 A

H 0 4 N 5/232 H

H 0 4 N 5/232 C

G 0 2 B 7/11 C

G 0 2 B 7/11 D

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 3 日 (2015.2.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体を撮像する撮像部と、

撮像エリアに設けられる、前記被写体に対するオートフォーカスの合焦位置を定めるためのオートフォーカスエリアを設定するオートフォーカスエリア設定部と、

前記オートフォーカスエリアに応じて、前記オートフォーカスを制御するオートフォーカス制御部と

を備え、

前記オートフォーカスエリア設定部は、前記オートフォーカスを用いた追尾動作を行う場合に、追尾対象となる前記被写体が認識されていないとき、前記オートフォーカスエリアを、前記撮像エリアにおける中央部に再設定する

撮像装置。

【請求項 2】

前記オートフォーカスエリア設定部は、前記オートフォーカスエリアとして、前記撮像エリア内の任意の位置に配置される複数のオートフォーカスエリアが設定されている場合、前記オートフォーカスエリアを、前記中央部に再設定する

請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記オートフォーカスエリア設定部は、前記オートフォーカスエリアを、前記中央部の任意の位置に配置される複数のオートフォーカスエリアに再設定する

請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

前記オートフォーカスエリア設定部は、前記オートフォーカスエリアを、前記中央部の任意の位置に配置される 1 つのオートフォーカスエリアに再設定する

請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

追尾対象の前記被写体を認識する被写体認識部をさらに備え、

前記オートフォーカスエリア設定部は、前記被写体認識部の認識結果に応じて、前記オートフォーカスエリアを再設定する

請求項 1 乃至請求項 4 に記載の撮像装置。

【請求項 6】

被写体を撮像する撮像部を備える撮像装置の制御方法において、
前記撮像装置が、

撮像エリアに設けられる、前記被写体に対するオートフォーカスの合焦位置を定めるためのオートフォーカスエリアを設定し、

前記オートフォーカスエリアに応じて、前記オートフォーカスを制御し、

前記オートフォーカスを用いた追尾動作を行う場合に、追尾対象となる前記被写体が認識されていないとき、前記オートフォーカスエリアを、前記撮像エリアにおける中央部に再設定する

ステップを含む制御方法。

【請求項 7】

被写体を撮像する撮像部を備える撮像装置を制御するコンピュータに実行させるプログラムであって、

撮像エリアに設けられる、前記被写体に対するオートフォーカスの合焦位置を定めるためのオートフォーカスエリアを設定し、

前記オートフォーカスエリアに応じて、前記オートフォーカスを制御し、

前記オートフォーカスを用いた追尾動作を行う場合に、追尾対象となる前記被写体が認識されていないとき、前記オートフォーカスエリアを、前記撮像エリアにおける中央部に再設定する

ステップを含むプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本技術の一側面の撮像装置は、被写体を撮像する撮像部と、撮像エリアに設けられる、前記被写体に対するオートフォーカスの合焦位置を定めるためのオートフォーカスエリアを設定するオートフォーカスエリア設定部と、前記オートフォーカスエリアに応じて、前記オートフォーカスを制御するオートフォーカス制御部とを備え、前記オートフォーカスエリア設定部は、前記オートフォーカスを用いた追尾動作を行う場合に、追尾対象となる前記被写体が認識されていないとき、前記オートフォーカスエリアを、前記撮像エリアにおける中央部に再設定する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記オートフォーカスエリア設定部は、前記オートフォーカスエリアとして、前記撮像エリア内の任意の位置に配置される複数のオートフォーカスエリアが設定されている場合

、前記オートフォーカスエリアを、前記中央部に再設定する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

前記オートフォーカスエリア設定部は、前記オートフォーカスエリアを、前記中央部の任意の位置に配置される複数のオートフォーカスエリアに再設定する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

前記オートフォーカスエリア設定部は、前記オートフォーカスエリアを、前記中央部の任意の位置に配置される1つのオートフォーカスエリアに再設定する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

追尾対象の前記被写体を認識する被写体認識部をさらに備え、前記オートフォーカスエリア設定部は、前記被写体認識部の認識結果に応じて、前記オートフォーカスエリアを再設定する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

本技術の一側面の撮像装置、制御方法、及び、プログラムにおいては、撮像エリアに設けられる、被写体に対するオートフォーカスの合焦位置を定めるためのオートフォーカスエリアが設定され、オートフォーカスエリアに応じて、オートフォーカスが制御され、オートフォーカスを用いた追尾動作を行う場合に、追尾対象となる被写体が認識されていないとき、オートフォーカスエリアが、撮像エリアにおける中央部に再設定される。